



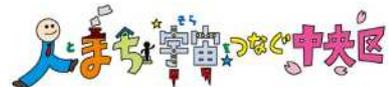
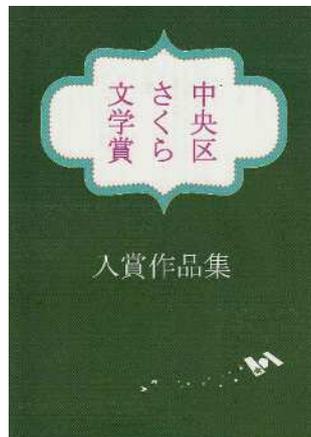
中央区から始まる物語 「中央区さくら文学賞入賞作品集」を発行します！

中央区を舞台とした小説を公募した「中央区さくら文学賞」の入賞作品集が完成しました。この文学賞は、多くの人に中央区の魅力を知ってもらうとともに、中央区の新たな魅力を発見することで、より多くの人に中央区を好きになってもらいたい、そんな願いを込めて実施したものです。

たくさんの応募作品の中から選ばれた3つの物語をぜひご覧ください。

- 1. 配布場所**
 - ・中央区役所
 - ・大野北・田名・上溝まちづくりセンター
 - ・公民館
- 2. 配布期間** 令和5年3月13日（月）から
※配布予定数量（2,000部）に達し次第終了となります。
- 3. 入賞作品**
 - (1) 大賞 「妙見橋で会いましょう」 作 青井 月
ある日、私は、淡い恋心が綴られた曾祖母の日記を見つける。
相武電気鉄道の開通日に妙見橋で会う約束をしていたが、かなわなかったらしい。私は、今その相武電気鉄道の停車場をめぐる。曾祖母の好きだった人の曾孫といっしょに。
 - (2) 区長賞 「いつだって、どこへだって」 作 寅衛 まさお
自動車学校に通い始めた『私』は運転への苦手意識を拭えずにいた。そんな私を心配してか、教官の青山さんは『私』を奇妙なドライブへと連れ出した。
 - (3) 区長賞 「宙のほとりの私たち」 作 春日 彩花
映像監督の日南 透（ひなみ とおる）は、検診の結果が思わしくなく、亡き母の病が遺伝したと直感する。桜並木を見るため帰ってきた相模原で、五年ぶりに同級生と再会する。

規格 A5版
本文 44ページ



お問い合わせ
中央区役所区政策課
電話 042-769-9802 FAX042-757-2941